

ご参考 「梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）」について

本計画では、大阪神ビルディングと新阪急ビルの建替とともに、周辺公共施設の整備を一体的に行うこととしており、都市機能の高度化、防災機能の強化、公共的な空間の創出、良好な景観の形成等を通じ、国際競争力の強化や省CO2に寄与する質の高いまちづくりを進めることを目指しています。

建替により誕生する「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、百貨店ゾーンとオフィスゾーンのほか、大小2つのホールを備えるカンファレンスゾーンからなり、2022年春に全体開業する予定です。

オフィスゾーンは、1フロア当たりの貸室面積が約3,500㎡となるほか、本ビルで働くオフィスワーカーのための専用フロア「WELLCO」（ウェルコ）を設置します。同フロアでは、適切な休息やオフィスワーカー同士の交流を通じた学びが、心身の調和と活力の向上をもたらし、創造性豊かな仕事につながる好循環を生み出すと考え、「よく休み、よく働き、よく学ぶ」ことができる機能を集積します。

また、壁面や屋上広場の緑化により都市環境の改善を目指すほか、本ビル周辺の歩行者空間の整備を行い、高齢者の方やお体の不自由な方をはじめ、多くの方々の快適性・利便性を高めます。

（大阪梅田ツインタワーズ・サウスの詳細：<https://www.hanshin.co.jp/twin-south/>）



外観(イメージ)



カフェ(イメージ)



フィットネス(イメージ)

	大阪梅田ツインタワーズ・サウス	
所在地	大阪市北区梅田1丁目1番 ほか	
敷地面積	約12,200㎡	
容積率	2,000%	
延床面積	約260,000㎡	
階数	地下3階、地上38階	
高さ	約190m	
主な用途	百貨店、オフィス、ホール等	
構造	鉄骨造（地下部：鉄骨鉄筋コンクリート造）	
竣工	2022年春（予定）	
施設構成	百貨店ゾーン	地下2階～地上9階 延床面積：約100,000㎡
	オフィスゾーン	地上11階～38階 延床面積：約143,000㎡
	カンファレンスゾーン	地上11階 延床面積：約4,000㎡
	その他（駐車場、共用通路等）	延床面積：約13,000㎡

（参考） 地上10階は機械室

（以上）